

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和4年8月17日(2022.8.17)

【公開番号】特開2021-27984(P2021-27984A)  
 【公開日】令和3年2月25日(2021.2.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-010  
 【出願番号】特願2020-82485(P2020-82485)  
 【国際特許分類】

A 6 3 H 3/46(2006.01)

10

A 6 3 H 3/36(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/46 B

A 6 3 H 3/36 G

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月8日(2022.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

玩具の所定部位となる可動構造体であって、  
 支持部を有する外殻が列状に配列された列状外殻群と、  
 前記外殻の内部に配置され、少なくとも1つおきのジョイントが前記外殻の前記支持部に支持されるリンク群と、  
 を備え、前記リンク群の可動によって前記列状外殻群の伸縮および湾曲が可能な可動構造体。

30

【請求項2】

前記外殻は、一端側の外形寸法よりも他端側の内部空間の寸法が大きい筒状体であって、  
 前記列状外殻群は、隣り合う一方側の前記外殻の一端側が、他方側の前記外殻の他端側に遊嵌して配列されている、  
 請求項1に記載の可動構造体。

【請求項3】

前記列状外殻群は、隣り合う前記外殻が嵌まり合った直線状の縮小形状と、隣り合う前記外殻が間隔を空けて弧状に配列した湾曲形状とに全体形状を変更可能な、請求項2に記載の可動構造体。

40

【請求項4】

前記リンク群の各ジョイントはピン結合による回り対偶であり、  
 前記リンク群の可動は、各ジョイントの回り対偶によって定められる所定の可動面に沿った可動であり、  
 前記列状外殻群の湾曲は、前記可動面に沿った湾曲である、  
 請求項1～3の何れか一項に記載の可動構造体。

【請求項5】

前記外殻および前記リンク群の一方または両方に、前記可動面に沿った前記列状外殻群の両方向の湾曲のうち、一方向への湾曲限界を、他方向への湾曲限界に比べて制限する制限構造、

50

を更に備えた請求項 4 に記載の可動構造体。

【請求項 6】

前記制限構造は、前記リンク群の各ジョイントに設けられた前記一方向への回転制限構造である、

請求項 5 に記載の可動構造体。

【請求項 7】

前記回転制限構造による回転角度の制限によって前記リンク群の伸長に制限が設けられ、当該リンク群の伸長可能範囲内において前記列状外殻群が伸長可能である、

請求項 6 に記載の可動構造体。

【請求項 8】

前記制限構造は、前記外殻の配列中心線から前記他方向にずれた位置に前記支持部が設けられた構造を含む、

請求項 5 ～ 7 の何れか一項に記載の可動構造体。

【請求項 9】

前記制限構造は、前記一方向への湾曲時に、隣り合う前記外殻同士が干渉することで前記一方向への湾曲限界が設けられた構造である、

請求項 5 ～ 8 の何れか一項に記載の可動構造体。

【請求項 10】

所定部位に請求項 1 ～ 9 の何れか一項に記載の可動構造体を備えた玩具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の態様は、玩具の所定部位となる可動構造体であって、ジョイント支持部を有する中空外殻が列状に配列された列状外殻群と、前記中空外殻の内部が連通してできる内部空間に配置され、少なくとも1つおきのジョイントが前記中空外殻の配列順に前記ジョイント支持部に支持されることで前記列状外殻群の配列を保持するリンク群と、を備え、前記リンク群の可動によって前記列状外殻群の伸縮および湾曲が可能な可動構造体、である。また、本発明の態様は、玩具の所定部位となる可動構造体であって、支持部を有する外殻が列状に配列された列状外殻群と、前記外殻の内部に配置され、少なくとも1つおきのジョイントが前記外殻の前記支持部に支持されるリンク群と、を備え、前記リンク群の可動によって前記列状外殻群の伸縮および湾曲が可能な可動構造体。

10

20

30

40

50